

# プロジェクト科目 議事録

2006年 6月 4日提出

プロジェクト科目 テーマ名 小学生のための能楽入門プログラムの開発と研究	
記録者氏名 E	学生 ID -
日時 2006年 6月 2日(金) 15:30 ~ 17:30	
場所 同志社小学校 会議室	
議題 同志社小学校担当教員との初顔合わせ・第一次企画書プレゼン	
参加者 大学側：A、B、C、D、E、H、T、TA 小学校側：校長、学務幹事、校務幹事、3-A担任、3-B担任、3-B副担任	
記録 小学校訪問の流れ 1. 校内見学（16時～16時30分） 2. メンバー紹介およびプレゼンテーション・質疑応答（16時30分～17時30分） 小学校から提示された資料：「同志社小学校の教育」（年間スケジュールなど）  1. 校務幹事の案内で、校内の配置、設備を見学。  2. 大学、小学校双方のメンバーによる第一回企画会議 ① メンバー紹介 * 3-A副担任は所用により欠席。 ② 小学校側スケジュールの確認 * 7月26日(水)なら、3年生のみの登校日なので、校内を自由に使うことができ、先生方の協力が得やすい日である、とのこと。 * 事前学習について、専門教科（宗教・理科・英語・体育・書写・音楽）は担任の授業ではないため、利用には担当教員との交渉が必要。 ③ 企画プレゼンテーション * C司会、Aのプレゼン。 ④ 企画内容に対する小学校側からの質問・要望 * それぞれのブースに要する時間を具体的に。 * ブースが少ない。せめて6ブースはほしい。 * 扇作りの意味づけ ・ 扇を作ってからWSか、WS後、扇作りか→小学生が自発的に取り組むには、どちらが効果的か。	

- ・ただ絵を描くだけで終わらせてはならない。
- ・扇作りには時間がかかる→予定を細かく提案してほしい。
- \* 能に触れるには
  - ・前回の同志社タイムの反省→伝統の重みをもっと理解させたい
  - ・事前学習が必要ではないか
- \* 浴衣での参加について
  - ・小学校側としては保護者に購入を促すことはできない。
  - ・浴衣で参加する意味を明確に示してほしい。
- \* スタンプラリー形式では遊びすぎではないか
- \* 目標について
  - ・「将来の愛好家の卵」をより具体的に→第1弾 WS, 第2弾 WS, 1年後と段階的な目標設定が必要。

◎「実際の小学生の様子を知ってほしい」と授業参観の提案があった。

☆今後の課題（プレゼンにおいて）

- \* できること、できないことをはっきり相手に伝えることが必要（予算についてはシビアに）。
- \* 質問に答えられるように、企画を詳細につめておく。
- \* 「本物と出会う」が、小学校側にうまく伝わっていなかったため、そこを強調する。

☆交渉に当たる際の注意点

- \* 「本物に出会う」ことが重要であり、素人が指導には参加しない点を伝えること

☆今後話し合うべき内容

- \* ブースについて
  - ・どのようなブースを、いくつ用意すべきか（所要時間、回転率、能楽師の人数、予算など、詳細を検討）
  - ・それぞれのブースの目的をはっきりと
- \* 扇作りの実施方法と意味づけ
  - ・事前学習として行うなら、誰がどのように
  - ・扇作りで目指すものは何か
- \* 段階的な目標設定

☆企画を推進していくために話し合うべきこと

- \* それぞれの役職の仕事内容の理解と具体的な目標設定
- \* 一括したスケジュール管理

○メンバーがそれぞれどのような仕事をしているのか、理解・把握するため

に、次回タスク表を作成する。

○企画の練り直しを行うために、小学校訪問を受けて考えた問題点と企画練り直し案をA4用紙1枚にまとめて、11枚（メンバー全員分）プリントしてこること。箇条書きでポイントのみを書くこと。出席していなかった人は議事録を参照するように。